



平成 27 年 11 月 12 日

各 位

会社名 東京コスモス電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 高橋 秀実  
 (コード番号 6772)  
 問合せ先責任者 管理本部企画部執行役員  
 企画部長 小野澤一実  
 (TEL 046-253-2111)

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異および  
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 19 日に公表しました平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の業績予想と本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 3 月期通期連結業績予想（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）について下記のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値との差異  
 （平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,900	百万円 150	百万円 170	百万円 110	円 銭 7.01
実績値 (B)	3,647	△36	16	4	0.29
増減額 (B-A)	△252	△186	△153	△106	
増減率 (%)	△6.5	—	△90.5	△95.4	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	3,735	△4	2	△17	△1.09

2. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正  
 （平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,800	百万円 300	百万円 350	百万円 230	円 銭 14.66
今回修正予想 (B)	7,400	50	100	67	4.27
増減額 (B-A)	△400	△250	△250	△163	
増減率 (%)	△5.1	△83.3	△71.4	△70.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	7,670	178	236	67	4.31

### 3. 業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正が生じた理由

第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、大口取引先における車載用電装部品や電流センサ在庫調整の影響とサーバー用電源向け需要が一段落したこと、及び国内設備投資が予想を下回ったこと等が直撃し、予想値を252百万円(6.5%)下回る結果となりました。利益面につきましては、売上高の減少と海外人件費や減価償却費の増加、更には新製品の立ち上げ、設備増強コスト負担増の影響で営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益ともに予想値を下回る結果となりました。

通期連結業績予想につきましては、中国・アジアなどの新興国経済の伸び悩みや為替動向、国内経済の下振れ等のリスクから下期販売動向が不透明な状況であることに加え、平成26年度下期以降獲得した大型受注案件に関わる研究開発費や設備投資費が前倒しで発生していることから、今後の業績への影響を勘案し平成27年5月19日に公表しました業績予想を上記のとおり修正いたしました。なお、前述の大型案件は、平成28年度下期以降売上に貢献する見込で、工場の稼働率の向上を通じて利益面でも改善することを見込んでいます。

また、当社は従来採用していた厚生年金基金制度を平成27年10月1日に廃止し、これに変わる制度として、給付額の一部を中小企業退職金共済制度で充当する新たな確定給付型の退職金制度を同日より施行し同基金の仮想個人勘定残高と年金資産額との差額を移行に関する損失として計上することとなります。しかし現時点では合理的に損失見込み額を算定することが困難であるため、上記業績予想には反映しておりません。

※上記の業績予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上